

大 ぞす

広島大学を卒業・修了後、各業界で活躍されている卒業生の方々に、
現在のお仕事と大学時代を語っていただきました。



生物生産学部 出身
窪田 保 さん

一般社団法人
グローバルけん玉
ネットワーク (GLOKEN)
代表理事

くぼた・たもつ / 奈良県出身。2003年全日本学生けん玉選手権個人の部優勝、もしかめ連続時間の世界記録を樹立。2004年広島大学生物生産学部を卒業後、青年海外協力隊や通信制高等学校の教員を経て、2012年に一般社団法人グローバルけん玉ネットワークを設立。

けん玉の魅力を もっと世界中に広めたい

何度も練習を重ね、難しい大技が決まった時の達成感やうれしさ。それは、大学入学後けがによって運動部を引退した私の心の空白を埋めてくれました。けん玉にのめりこむようになるにつれ、“地味で暗い”“ダサい”遊びだと周りから思われていることがとても悔しく、もっと魅力を広めるためにけん玉サークル「DAMAIけん」を結成。小学校や児童館などを訪れ、子どもたちに教えるイベントを年に100~200回ほど行ったり、普及のためにモンゴルを何回も訪れたり、忙しい毎日を送っていました。活動を通じて、人と人をつなぐけん玉の力を実感すると同時に、

子どもたちを喜ばせて場を盛り上げる責任感を養うなど、学校の中だけでは学べない貴重な経験が成長につながったと感じます。

けん玉界を盛り上げ、 “楽しい”があふれる社会に

大学卒業後もけん玉の普及に取り組む中で、SNSなどを通じて世界中に広まりつつあることを感じていました。そこで、世界のプレーヤー同士が交流できるプラットフォームをつくりたいと思い、GLOKENを設立。発祥の地である広島県廿日市市で、2014年から毎年「けん玉ワールドカップ」を開催しています。一方で、初心者にも「できた!」という喜びを味わってほしいという思いから「けん玉検定」をつくり、検定員で

ある「けん玉先生」の資格発行なども行っています。

最終的な目標は、日常に「楽しい!」があふれる社会づくり。子どもたちに豊かな社会を残せるよう、これからもさまざまな方法でけん玉コミュニティを盛り上げていきます。

心に響いた人生の名言

日本一周をしていた時、ある方に「お礼を手紙で伝える」ことをアドバイスしていただきました。今でも寄附して下さるサポーターの方に、直筆でお礼の手紙を書くように心がけています。